

本校では、自己理解・他者理解を深め、支えあうことの大切さを学ぶことを目標として、本科1年生を対象にグループ学習と体験活動を行っています。その一環として人権ホームルームでは、障害を持つ人への理解を深めるとともに、コミュニケーションの重要性や互いを尊重し合うことの大切さを体験的に学習することを目的として平成27年度よりブラインドサッカー（視覚障害者がアイマスクを着けてプレーするサッカー）の体験学習を実施しています。

【実施内容】

1 日時 平成29年9月13日（水）

①限 事前学習（HR教室でDVD・資料を活用して理解を深める）

②限 体験学習（体育館でブラインドサッカーのワークを行う）

③限 事後学習（HR教室で体験学習の振り返りを行う）

2 主催 日本ブラインドサッカー協会

講師 視覚障害者1名（ブラインドサッカープレイヤー）、サポートスタッフ1名



生徒は交代でアイマスクを着用し、仲間の声を頼りにボールを蹴ったり走ったりしていました。アイマスクを着けた人が正確にボールを蹴ったり走ったりすることがどれほど難しいか、またアイマスクを着けた人にどのような声かけをすればうまくできるのか、等を何回も話し合いながら挑戦しました。生徒は、ブラインドサッカーの体験から、他者とコミュニケーションを通じて支え合うことの重要性や難しさを学んでいました。